

## 文献から見た「高齢者の衣生活」に関する検討

○北浦 多栄子\* 天野敏彦\*\*

(\*九州女大 \*\*武庫川女大・院)

1987年から2000年の14年間に家政学誌など学会誌と大学および官公庁の研究誌に公表

された高齢者衣料に関する研究を調べ、研究の動向や高齢者の衣生活を検討した。介護保険への関心が高まった最近3年間に、高齢者に関する論文は急速に数を増し、前半の約10年間と同数程度である。前半は実態調査に関する研究が多いが、最近は無マライゼーションやユニバーサルファッションとしての高齢者衣料の研究も増加している。実態研究内容からは高齢者自身の衣服に対する関心の低さや消極姿勢が顕著によみとれる。

Table 2-2-1 Classification of the papers about clothes for the aged [1987~19

年次	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997
①実態調査	○1 ○2	●3		○4	△5 △6 ●7	△8 ○9	●10 ●11 ●12	●13 □14		●15 ☆16 □17 □18 ●19	
②体型と衣服		△20		△21		□22 △23	○24	●25 ●26 ●27 ●28			☆29 ○30
③気候変化と衣服						○31 ○32			●33		
④高齢者の下着		○34							●35	●36	
⑤要介護老人と衣服				●37	●38 ●39	●40	●41 ●42	●43			●44
⑥高齢者衣料の開発等		○45			●46		●47	●48	△49	☆50 □51	●52 ☆53
文献件数計	2	4	0	3	6	7	7	8	3	8	5

(備考) 文献の出所は○家政誌、△織消誌、□衣服誌、☆テキスタイル&ファッ:  
●大学官公庁誌であり、右の数字は文献番号である。